

第13回市政e-モニターアンケート集計結果

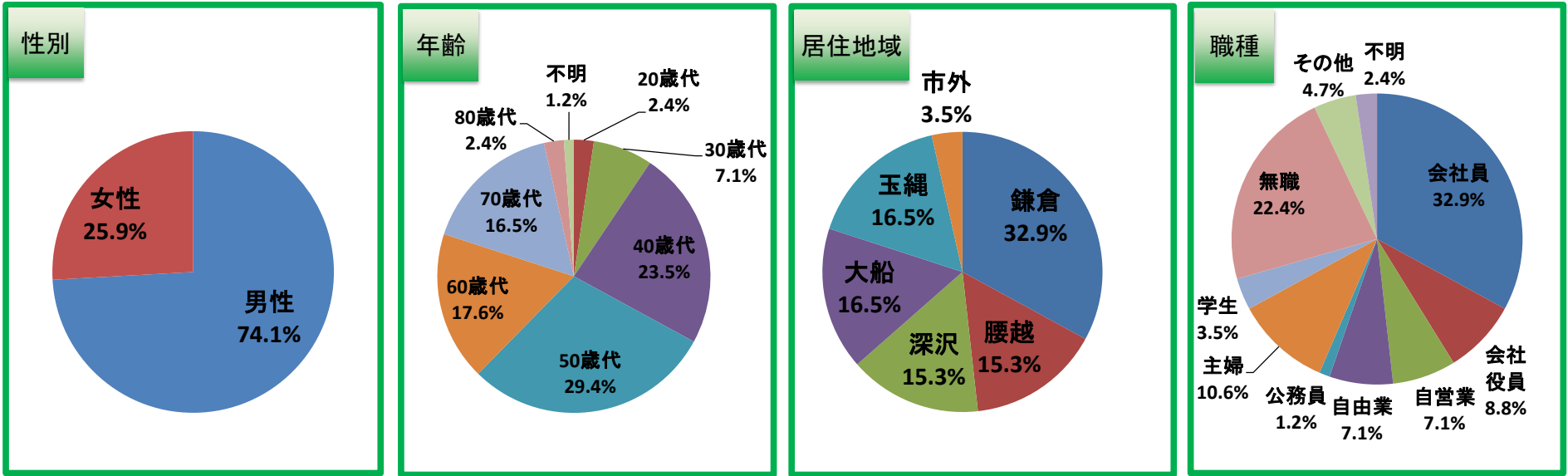
【テーマ】
～市長と語ろう明日の鎌倉～
ふらっとミーティング

アンケート送信日
アンケート実施期間
送信者数
回答者数
回答率（対着信者数）

平成25年4月4日（木）
平成25年4月4日（木）～4月16日（火）
247名（着信者数245名）
85名
34.7%

について

【今回の回答者の基本属性】

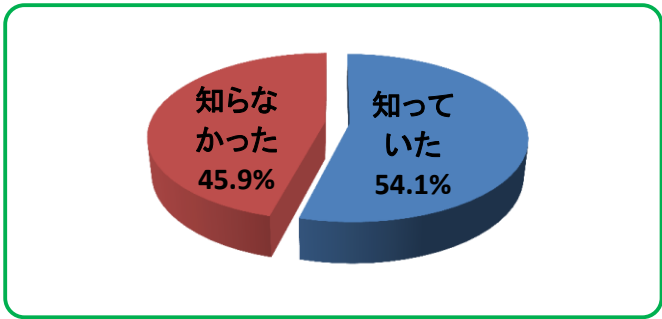


●質問1● 平成24年10月から11月にかけて実施した「ふらっとミーティング」をご存知でしたか？

(名)		
1	知っていた	46
2	知らなかった	39

「秘書広報課広聴担当から」

モニターの皆様の間でも、これだけ知られていなかったということで、事前周知が不十分であったことをあらためて反省しています。



●質問2● 問1で「知っていた」とお答えいただいた方にお聞きします。「ふらっとミーティング」の開催を、何で知りましたか？

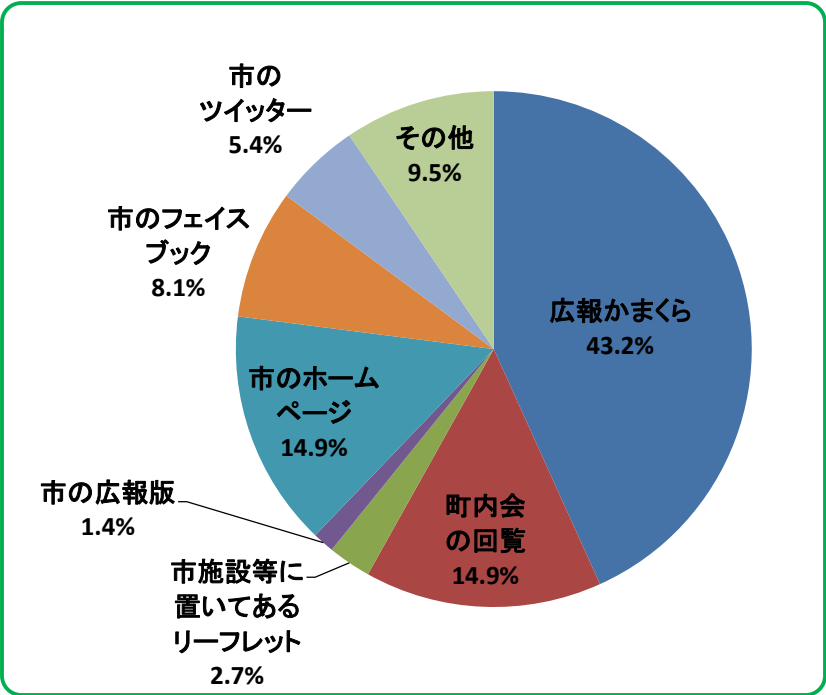
(名)		
1	広報かまくら	32
2	町内会の回覧	11
3	市施設等に置いてあるリーフレット	2
4	市の広報板	1
5	市のホームページ	11
6	市のフェイスブック	6
7	市のツイッター	4
8	ケーブルテレビ	0
9	その他	7

「秘書広報課広聴担当から」

広報かまくらは、年齢・性別に関わらず多くの方に見ていただいているようです。

また、ツイッターやフェイスブックで情報を得るという方がだんだん増えてきており、今回も30代40代の方から回答がありました。

今後も低コストで効果のあるPR方法を研究してまいります。



●質問3● 市民が自由に参加できる市長との懇談会が開催される場合、こういった手段による広報が有効だと思われますか？【自由記述】

- ・ 広報かまくら 自治会回覧板
- ・ ただありますだけでは、参加しにくいと思います。やはり市内に住む市職員の方とかを通して言葉での参加要請が効果的だと思います。
- ・ 防災鎌倉で使用しているスピーカーで開催前にアナウンスしていただけると、認知度が高くなるかと思います。
- ・ 広報かまくらは基本的には全戸配布なので、有効と思う。町内会の回覧板等で回覧する方法等もあるが、その気の無い方には殆ど響かないので、現状で良い。
- ・ もしそれなりのテーマがあり、ある層に出席してほしいとの、市長の希望があればそれに合わせた多様な媒体を使用したらいかがでしょうか。例えば、小生、現役の頃は、広報かまくらに一度も芽を通した記憶がなく、また、ケーブルテレビも同様です。
- ・ 質問2の選択肢に書かれているような事項は必要だと思うし、おそらく前回もなされたのであろうが気がつかなかった。
(1)新聞記事に取り上げてもらうことで新聞の神奈川県のパージ(地方のニュースを掲載するページ)に記事として書かれていれば、もっと目につきやすいと思う。「鎌倉市」の文字を大手新聞の神奈川県のパージで見かけることが少なすぎる。
(2)市内に住み市外で就労するために通勤する人たちに広報するには大船駅鎌倉駅で早朝に広報物の配布、立て看板による広報などを試みるべきではないか。市役所支所、図書館など、市の施設にもポスター、看板、チラシなどを目立つようにおけばよい。
(3)ただ、その結果参加希望者が増えすぎたらどうするのか、知れ渡って、広報効果はあったが、希望者のほとんどの人が参加できない会では意味がなからう。
- ・ 「広報かまくら」への記載が最も確実と思う。
- ・ 若者は広報、回覧板、リーフレット等、紙ベースでの情報チェックはしないと思われるのであらゆる情報発信ツールを使うべきかと思います。(ツイッター、フェイスブック、ミクシー)
一方、年配に方はネットからの情報取得には抵抗があるかと思われるので広報かまくら設置場所の増やす、ケーブルテレビでの放送回数を増やす かなり工夫が必要かと思います。
- ・ 市のホームページ、e-モニターへのメール、機関紙への記載
- ・ 会場となる小学校などの配布物 新聞の折込
- ・ 質問2に上げてあるものに加えて、タウンニュースや江ノ電通信などの地域メディアも有効に思います。
- ・ 広報かまくらを利用する。
- ・ メールマガジン
- ・ 広報かまくらは良く読まれていますので、一番効果があると思います。後は、町内会の回覧板も有効かと思います。
- ・ 広報かまくら、市ホームページ程度で充分と思われます。市政や鎌倉自体に積極的に情報収集する姿勢がないと、曖昧な意見抽出になると考えるためです。
- ・ 「広報かまくら」ではタイムリーでというわけにはいかないと思いますので、回覧板が良いと思います。
- ・ 「広報かまくら」での告知と町内会の回覧の併用が有効と思います。
- ・ 広報かまくら、新聞社へのプレスリリース⇒各紙ローカル面へ、鎌倉FM、防災無線、市広報FBページ、市長FBページなど。
- ・ これといった有効な手段があるわけではありません。手持ちのあらゆる手段を使うことです。
- ・ ポスターを市民の目に付く場所に貼る。
- ・ 現状で充分です。
- ・ メール配信
- ・ 質問2の項目で既にご案内いただいているのであれば、他に追加での広報は特に必要ございません。
- ・ 広報かまくら
- ・ ○予め課題を市民に知らせること。
○参加者は発言又は質問内容を簡潔且つ分り易く述べられるように、事前に準備しておくこと。結果的に貴重な時間を独り占めしないように。
○1回の発言時間を3分以内になるよう、議事進行係りは配慮すること。
- ・ 町内会回覧 ツイッター フェイスブック
- ・ 広報かまくらで知らせておき、開催日近くに開催場所の町内会に連絡する。
- ・ SNSやHP等、インターネット
- ・ 高齢者には紙ベースや回覧板、若い世代にはSNS
- ・ 広報かまくらと市HPIにて案内すれば充分だと思う。
- ・ 広報紙、ホームページ、メール等
- ・ 広報かまくら、道路脇の掲示板、町内会回覧板など通知日が早すぎても忘れる、広報かまくらに掲出後開催日までは掲示板が有効と思われる
- ・ 告知から開催までの期間確保の長さによって違いますし、エリア設定や対象属性によっても手段は検討すべきだと思います。が、この鎌倉市の場合は、町内会組織が成熟しているので、街角の掲示板がベストかもしれません。ただし将来的には、この伝達手段こそが議論の対象として技術革新からまちづくりシステムを包括的に検討すべきだと思います。
- ・ 鎌倉市の広報かまくら
- ・ 全戸に配布される「広報かまくら」が良いと思いますが、中身を注意して読まない人もいるようですから、別紙の簡単なミーティングのお知らせを広報の中に織り込むなどしてはどうでしょうか。
- ・ ①基本は、広報かまくら
②ケーブルテレビユーザーは結構多いと思われるのでそこで広報
③JR鎌倉/北鎌倉駅および江ノ電駅での掲示板広報
④SNSでの広報: ,twitterやホームページ
- ・ 広報かまくらが最も効果的なように感じます。
- ・ 今まで通り、あとは街頭での呼びかけや駅での広報誌配布など。
- ・ 広報か、HPIに討論議題と市長の考えを事前に記載し、参加者を募る。
問題点を絞り、年1回ではなく複数回行うか、実施場所ごとに議論内容を変える等を行えば、いい。2時間程度で総花的な議論は下らない。
今のくにはスピード感を優先し、国民に方向性を示している。旧態依然のご意見いかがではもう市民は付いては行かないだろう。
この点について、前回出席して市長に話したかったが、急用で出れず残念であった。
- ・ フェイスブックと町内会の回覧、(ネットとリアルの両方で)
- ・ 広報で広く宣伝した上で、何かのイベントをかねて開催する。家族で行けるフェスティバルのそばで開催し、父または母のみ出席できるように
- ・ 広報誌若しくは回覧板が有効だと思います。
- ・ 選挙の投票日のように防災無線の放送でお知らせする。
- ・ 実施が地区単位ならば実施地区の町内の広報に目立つ形で掲載する。テーマが決まっているなら、そのテーマで活動している団体に直接
- ・ 鎌倉市の広報にのせるのが一番ではないでしょうか。ただ、若い方などはフェイスブック、ツイッターなどの方が伝わる気がします。
- ・ 広報かまくら
- ・ 地域のお店に貼る、人の通るところで開催し、偶然通った人が参加できるようにする。
- ・ 市の掲示板を使うのも良いと思います。
- ・ 新聞紙湘南版で懇談会をとりあげてもらう。
- ・ 町内会の回覧や、掲示板などへのビラ/ポスタ掲示が有効だと思います。
- ・ 2(町内会の回覧)を希望
- ・ 多くの市民の目に触れる「広報かまくら」に要旨を載せると共に「市のホームページ」が有効と思う。
- ・ 市の広報や町に立っている掲示板で告知・募集をする
- ・ 懇談会自体が身近に感じられないと、だれもが参加できるとは言っても多くの市民は参加しづらいと思います。特に町内回覧では自治町内会代表者に限られていると判断しがちです。
広報紙やウェブサイトでの広報は当然ですが、音楽会や講演会と同様に、市役所、支所、書店などにポスターやちらしを掲示してもらってはどうか。だれもが参加でき、懇談会のテーマが一目でわかる楽しいチラシを作りましょう。市長の顔写真などを掲載するとか。
- ・ 「広報かまくら」以外に、町内会・自治会のラインで周知するようにするのも有効だと思います。

- ・ 広報紙、メール
- ・ 広報かまくら 市のHPやfacebookなどのインターネット
- ・ 駅、スーパーマーケット、鎌倉近郊を走行する電車内、学校内などに広告を掲示する。
- ・ 市の広報に記載するのが一番かと思いますが、忙しくてなかなか目を通すことができない人も多いと思います。なので、それ以外に駅やバス停付近に掲示したり、町内の掲示板などに載せてとにかく目に触れるようにしないとなかなか広く知らせるのは難しいかもしれません。
- ・ どの人も通りかかれば目にするケースが多い回覧板や掲示板だけでなく、比較的他の人もアクセスするケースが多い鎌倉市のHPや観光HPで募るというのも重要だと思う。
- ・ 市のホームページ、広報誌、フェイスブック、Twitter
- ・ 「広報かまくら」や「ホームページ」など、前回と同様でいいと思う
- ・ ダイレクトメール
- ・ フェイスブック等ネットを使った方法と、町内会の回覧。
- ・ 幅広い参加を求めるなら、市の広報誌、市民センター、役所等での掲示(ポスター形式)ホームページが有効だと思います。特定層(年齢、地域、性別)の参加を求めるなら、ダイレクトメールが最善と思いますが費用面もあり、上記活用が現実的だと思います。
- ・ 個人的にはHPやFBだが、紙でないと見ない人がまだまだ多いと懸念されることから、広報誌(紙)等が良いのでは、と思う。
- ・ テーマを決めて、土日開催で。
- ・ 地元新聞のパブリシティ
- ・ 広報かまくら、市の掲示板、ケーブルTV、メール等が有効かと思っています。
- ・ 広報かまくら 社協だより
- ・ 広報やホームページへの掲載と、商店会へのポスターの配布
- ・ 質問2中の1, 2, 3, 4, 5 が有効と思われる。
- ・ 広報かまくらが一番。町内会回覧板や町の看板に貼る。
- ・ 広報鎌倉が適当だと思う
- ・ FaceBookやTwitterなどSNSを含む、既存の媒体全て。但し予算内。
- ・ 今までの「広報かまくら」はもちろんですが、現在facebookで行っている「かまくらさん」での告知は、とても有効であると思います。
- ・ 幼稚園、小学校、中学校にお知らせを配布。(生徒が家庭に持ち帰る)
- ・ 防災メールに追加項目として、市の広報掲示板も付ける。ただし、そのみの発信は行わない。
- ・ ①ホームページによる告知 ②市報による告知 ③ポスター(かまくらまつりのポスターのように、町内や店頭、駅に貼り出す) ④新聞へのオリコミ(ビラ)



「秘書広報課広聴担当から」

質問2でも示されましたが、既存の手法に加え、若年層にはSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）が効果的なようです。いただいたご意見のうち、駅頭でのチラシや地方紙への掲載などは、今後取り組む余地があると考えています。また、モニターの皆さまへのメール配信も行わせていただくことで、皆様からのクチコミ効果にも期待できるのではと考えますので、その際はご協力のほどよろしくお願いいたします。

●質問4● 本年度は、1つのテーマについて深く意見交換をしたいと考えていますが、テーマとしてどのような内容が望ましいとお考えですか？

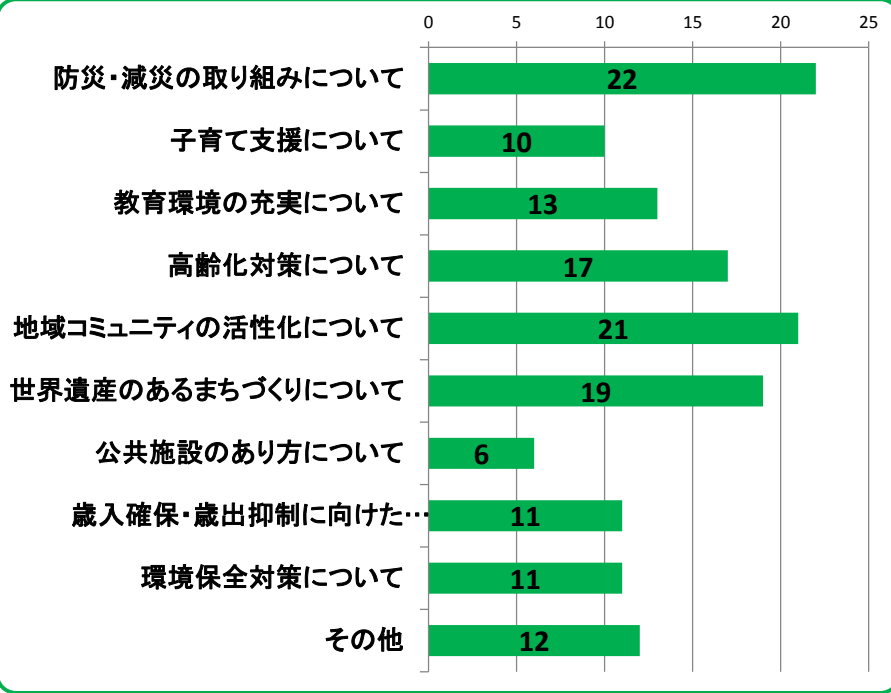
		(名)
1	防災・減災の取り組みについて	22
2	子育て支援について	10
3	教育環境の充実について	13
4	高齢化対策について	17
5	地域コミュニティの活性化について	21
6	世界遺産のあるまちづくりについて	19
7	公共施設のあり方について	6
8	歳入確保・歳出抑制に向けた方策について	11
9	環境保全対策について	11
10	その他	12

「10」、その他の回答者からのご意見」

- ・ 交差点の 交通渋滞の解消
- ・ ゴミ問題
- ・ 障害者対策
- ・ 放射能汚染対策
- ・ 国等からの助成金の取得と使途について
- ・ 鎌倉市の成長戦略 企業との関係について
- ・ 観光行政
- ・ 観光に伴う交通う対策。観光客受入インフラについて
- ・ 観光客の前向きな受け入れ方と市民生活の両立の方策について
- ・ 一市民の立場で参画し意見交換をするのであるから、子育て、地域コミュニティ、防災等の身近なテーマがよい
- ・ 鎌倉の将来の姿が分かるようなミーティングとしその中から、個別のテーマに進む。
- ・ 昨今の社会状況を見て、今一度「平和都市宣言」を考えてみてはと思います。“無防備地区”など、地方として話し合う時かもしれません。
- ・ 敢えて言うと「全部」を統合するためのキーワードの抽出が重要です。例えば「歩く古都鎌倉」を実現する。。。という仮説を立てる。社会実験として、正月に実施している歩行者天国エリアを規模調整して実施することによる経済効果を計測しつつ、露天を並べるのではなく、市民啓発系の「まちづくり」ワークショップを仕掛ける。休業駐車場では、プロによる音楽演奏等でお金が落ちる仕組みとつつ、地域住民の日々の活動の発表の場ともなる。歩行者天国エリア周縁部での駐車場マネージメントや観光ガイド等、高齢者の元気付けは無数に発生する。というようなイベント的な社会実験を、実際は毎週末にできるようなマネージメントもNPOセンターの参画団体とコラボレーションしつつ、大学等との連携を通して学生の研究・教育の場ともなりえる。。。その延長上に保育系大学の学生を中心に子育て支援の新しいシステムを発案することもできるかもしれない。。。…というような展開を「古都」でやることの意義を明確にブランド化する。。。とか。

「1」～「9」を選んだ回答者からのご意見」

- ・ 「1」… 避難場所の再検討や認識
- ・ 「2」… 子育てしやすい環境になれば、高齢者の子ども世帯がUターンしてきたり、若い世帯がより多く子どもを持てる。そうなれば、高齢者の絶対数は変わらなくても割合の増加が緩やかになると考えられるし、地域コミュニティや商店街の活性化にもつながると思うの
- ・ 「4」「5」… このテーマは課題はわかっているのに、効果的な施策を何もやっていない、という印象があるために選んでいる。意見を「交換」しても無駄な テーマかもしれない



- ・「4」「5」… 4の「高齢化対策について」の「対策」という表現に、鎌倉市役所としての「高齢化は問題(悪)だ。何とかしなければいけない」というスタンスがでており、良くないと思います。人が年をとり、高齢化するの悪いことだけではなく、良いこともあります。今まで経験したことがない状況に対して、どのような対応が良いかを鎌倉市政、市民が共に考えていくことに意義があると思います。「高齢化社会へ向けての取り組み」とか前向きなテーマ設定をし、話し合うのであれば、4のテーマも望ましい。
- ・「4」「6」… 鎌倉も高齢化が進んでいることから、4の高齢化対策が第一と思います。また、6の世界遺産のあるまちづくりに関して、今でも急がなければならない車・自転車・人の交通問題も大きな課題ですから、テーマに早く取り上げてほしいものです。
- ・「5」… 多くの事柄に関連する基本的なテーマと思うので。
- ・「5」… 地域で聞こえてくるのは「高齢化対策」や「子育て支援」に対するものです。若い人達による様々なコミュニティが発信されており、鎌倉市も間違いなく高齢化都市になってきており今後、こうしたシニアパワーを活かしたコミュニティづくりも重要なポイントになるように思えます。ですから、一つ選ぶとすれば「5」になります。
- ・「6」… 私は、世界遺産登録について手放しで賛成している訳ではありませんが、走り出して、ゴールも見えてきた中、協力は惜しみません。その中で感じるのは、若宮大路を中心とした町並みの崩壊、周縁の山の荒れていることです。町並みについては、私権との調整あり、一筋縄には行きませんが、山の保全は地主のメリット(無負担、税圧縮など)を与えれば、市民ボランティアの力を使って可能です。(市長にも初回お見え戴いた六国見山を見て戴ければ自明)。景観の回復、自然環境の回復、防災などメリットも多く、広い観点で世界遺産のあるまちづくりについて話があればよいのではないのでしょうか。
- ・「8」… 何をするにも優先的な問題です。



<<秘書広報課広聴担当から>>

やはり意見が分かれました。「防災・減災の取り組み」「高齢化対策」「世界遺産のあるまちづくり」といったテーマに関心が高いのは、鎌倉ならではのところでしょうか。そういう中で、「地域コミュニティの活性化」が多かったのは、前述の3つ全てに密接に関わってくるテーマでもあるとお考えになった結果なのかと推察します。この結果から、どのテーマに絞っていくべきか、もう少しお時間をいただいて考えたいと思います。

●質問5● 日程と時間帯は、どのようにするのが望ましいですか？ 優先順位の高い順に、2つお選びください。

第1候補の結果 (名)		
1	平日の日中がよい	18
2	平日の夜間がよい	14
3	土日の日中がよい	40
4	土日の夜間がよい	12
5	その他	1

第1候補を2pt、第2候補を1ptとした結果 (pt)		
1	平日の日中がよい	67
2	平日の夜間がよい	63
3	土日の日中がよい	142
4	土日の夜間がよい	61
5	その他	5

第1候補と第2候補の組合せによる上位5パターン (名)			
	第1候補	第2候補	
1	3 土日の日中がよい	4 土日の夜間がよい	16
2	1 平日の日中がよい	3 土日の日中がよい	13
2	3 土日の日中がよい	2 平日の夜間がよい	13
4	3 土日の日中がよい	1 平日の日中がよい	9
5	2 平日の夜間がよい	4 土日の夜間がよい	8

- 主に、4～50代の就労男性
- 主に、60代以上の非就労男性と40代以下の女性
- 主に、4～50代の就労男性と40代以下の就労女性
- 主に、50代以上の男性と40代以上の女性
- 主に、50代以上の男性と40代以上の主婦



<<秘書広報課広聴担当から>>

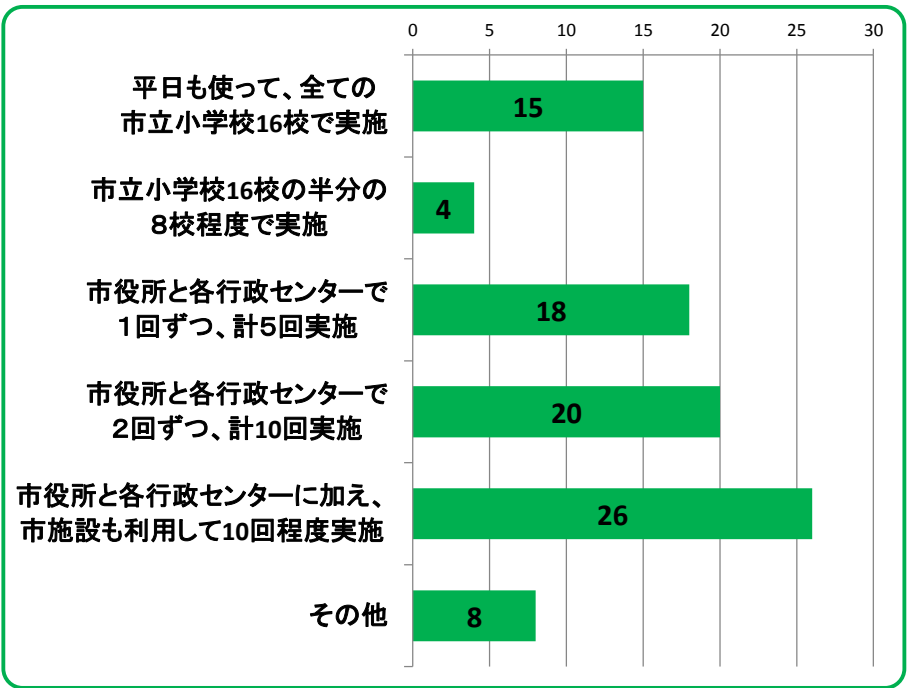
昨年度は、土日の日中に開催しましたが、思ったよりも参加者が少なかったという反省がありました。しかし、今回のアンケート結果を見ると、やはり土日の日中が一番皆様のご都合がよいようです。本年度は夏休み期間中ということで、平日の活用も考えているところですので、年齢層と開催時間の関係をよく精査したうえで日程を組みたいと思います。

●質問6● 会場と開催回数は、どのようにするのが望ましいですか？

(名)		
1	平日も使って、全ての市立小学校16校で実施するのがよい	15
2	市立小学校16校の半分の8校程度で実施するのがよい	4
3	行政区域ごとにして、市役所と各行政センターで1回ずつ、計5回実施するのがよい	18
4	行政区域ごとにして、市役所と各行政センターで2回ずつ、計10回実施するのがよい	20
5	市役所と各行政センターに加え、市の施設等も利用して10回程度実施するのがよい	26
6	その他	8

<<「6」、その他の回答者からのご意見>>

- ・小学校で地域の大人が集まることは、これから真剣に考えるべき。
- ・行政区域内で臨機応変に学習センターなども含めて検討して欲しい
- ・題材の内容や、興味を持つ方達により代わる。夫々人や世帯によって休日が違うので、エリアや曜日に関わらず、都合のつく開催日時・会場に参加すれば良いのではないのでしょうか。
- ・2と3の折衷案。面積を均等割りにした感じで、市内全域の方が参加しやすいように。



- 図書館は平日も休日も年齢にかかわらず気軽に立ち寄れる場所です。5つの行政区に一館ずつありますし、日ごろから市民が利用している場所です。子どものための「おはなしの部屋」を一時お借りし、車座になっておはなしすることは可能と思います。ミーティングの最中、子どもは読書して待っているなど、親子連れで参加も可能でしょう。実際、北欧では、「デモクラシーNOW」と称して議員さんや市長さんが時間を決めて図書館の一隅で待機し、おはなししたい人がその時間に合わせて出向くという企画があり、好評だときます。



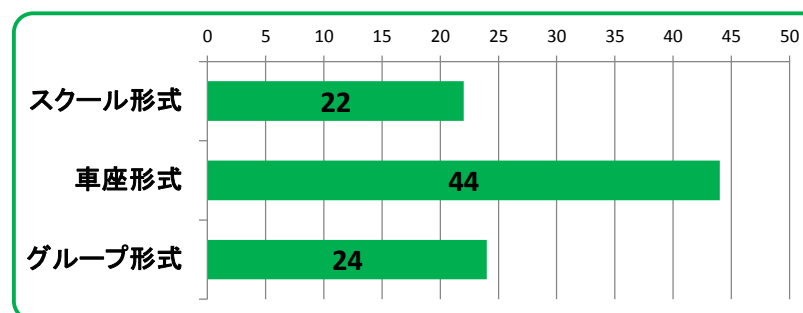
「秘書広報課広聴担当から」

市役所と行政センターという意見が多かったのは、やはり夏場の開催ということが影響しているのでしょうか。昨年度は、「会場が徒歩圏内であれば参加しやすいのではないか」という観点から、すべての公立小中学校で実施しましたが、小学校になじみの無い方にとっては、かえって行きづかったという話もありました。

ご意見でもいただいておりますように、今後、学校をもっと地域に開放していくということも大切だと考えますが、今回は市役所及び行政センターを中心に考えていきたいと思ひます。

●質問7● 意見交換は、どのような形式で行うのがよいと考えますか？

		(名)
1	市長と市民が対面で話をする（スクール形式）	22
2	市長と市民が円く輪になって話をする（車座形式）	44
3	市民同士のグループを作って話をし、そこに市長が加わる（グループ形式）	24



「その他、回答者からのご意見」

- 3は賛成しかねます。
- ワールドカフェ方式はどうでしょうか？
- 参加人数で変わるとおもいますが1だと思います。
- 参加人数にもよると思ひます。
- 先日「e-モニター」の人を集めてやったような。。。グループ討議＆発表。
- 参加者の人数が少なれば車座が理想です。人数が多ければスクール形式もやむを得ないと思ひます。
- テーマにもよるが初対面同士では議論が習熟する難しさがあると思ひます。職員の方が進行役(交通整理)をし議事進行する「1」の方法
- こういうときではないと、なかなか市長のお話を聞くこともないでしょうし、自分の意見も直接市長にも聞いてもらえればと思ひます
- (5～6人程度なら)2、人数が多いなら3
- 2、人数が多ければ3



「秘書広報課広聴担当から」

「市民と市長が一緒になって考える」という「ふらっとミーティング」のコンセプトから言えば、やはり、みんなで車座になって話をするのがよいのだらうと思ひます。ただ、ご意見にもありますとおり、車座の場合は、人数が多くなるとかえって話しづらくなるという心配もあるので、そのあたりは臨機応変に対応できるよう努めてまいります。

実は、先日のe-モニター懇談会も、当初は車座形式を予定しておりましたが、予想以上に多くの方にご参加いただいたため、急遽グループ形式で実施させていただいたものです。モニターの皆様なればこそ、無事に懇談会を進めていただくことができましたが、初めて懇談会に参加される方などにとっては、グループ形式やワールドカフェでは参加しづらいかもしれません。

●質問8● 学生や若年層の就労世代といった方にも多く参加していただくには、どのような工夫が必要だと考えますか？【自由記述】

- 時間帯と場所選び
- 若手の市職員の方から言葉による参加要請を学生、若年層の方に行う。
- 学生や若年層が寄り付きそうな店などにて、ポスター掲示や店内アナウンスをしてもらう。
- 開催する曜日・時間帯に多様性を持たせ、都合の良い時に参加出来るチャンスが増える様な検討。一部の思想・意思を持った方々の発言が目立ちすぎる場合、どう対応されるのか？ 難しい問題ですが、市民の声とは言い切れない結果では意味がないと思ひます。
- ネットを有効に利用することです。その際、対象世代のe-モニターの口コミ(メールなど)んどによ声掛けが必須です。
- 大学生にコミュニティー意識は乏しいだらうし、卒業後は鎌倉に残らない、一時的な滞在者ではなからうか。従って、重視すべきは市内居住の高校生、市内に住み他の都市に仕事に通う就労者の意見が大事。だとすると、高校生は高校に市長が行くのがよい。就労者の意見を聞くには土日の開催と、鎌倉駅、大船駅での早朝(午前7時ごろ)広報物配布による開催案内が効果的であらう。
- 土日の午後しかないと思ひます。
- 若者は広報、回覧板、リーフレット等、紙ベースでの情報チェックはしないと思ひれるのであらゆる情報発信ツールを使うべきかと思ひます。(ツイッター、フェイスブック、ミクシー)
- 地域ふれあいフェスティバルみたいなイベントを 繰り返し繰り返し 行うことと、ボランティア活動にも積極的に参加できる場所を提供すべきかと思ひます。
- ①なにかの行事に合わせるしかなさそう。中井貴一さんや小泉今日子さんと呼び、その会の前後に実施する、とか、一緒に参加してもらう、とか。学生であれば、学園祭の中のセッションのひとつとして教室を借りてやる。ただ、いずれにしても、市民だけに限定することは難しそう。
- ②対面は諦めて、ネット上で、常に市長の顔は見えるようにして、チャットで対応する。
- ③五山の協力を得て、普段見られないところの見学会、参禅などの企画をし、その中で2時間ほどのミーティングを組む。
- 上記の広報に加え、個人的に呼び掛けることがあってもいいかと。Facebookなどで招待することもありですね。
- 休日や夜間の開催
- 日頃から市政に関心を持ってもらうような工夫(仕掛け)を打ち出していく地道な努力が必要と考えます。
- 市に対する意識、民度の低い方からは有効、建設的コメントはなかなか期待できないのではないのでしょうか。これは若年層であってもその他であっても同様です。市施設利用者や、催し参画している若者・学生に参加要請してみるのが望ましいと考えます。
- 若い人たちの就学・就労先が市内ではない割合が大きいのではないかと推察しておりますが、その人たちが市政について切実な関心を持てるテーマは何だらうかと考えてみましたが、いいものに思ひ当たりません。
- 逆に考えて、そういう若い人たちの関心がどんなところにあるのか調べてみて(多分市政についてはあまり関心がないと思ひますが)、人を集めてみてある程度自由に発言させてみてはいかがでしょうか。
- 開催日の設定が一番キーになると思ひます。土日または平日の夜とかの開催でないと、参加の意思があっても参加できない。あとは開催の告知についての工夫が必要。
- 積極的広報(上述)と開催時間帯(夜)
- Facebookに「いいね」してもらえるよう鎌倉広報に繰り返し載せることです。また、懇談内容をFacebookに載せ、「いいね」した方が読めるようにすることです。

- ・ポスター、H／Pの利用等で、若い人々の意見を聞きたい事、市政に参加して欲しいこと訴求して訴えることが必要。若い人だけに参加してもらう方法、一般の市民の中に参加してもらう方法等の多様な方法を提案しては如何でしょうか。
- ・各町内会長にいらして、選抜して頂く方法もあります。
- ・自由で柔らかな雰囲気を作る。発言等を否定しない。
- ・1つのテーマについて深く意見交換するが前提であれば、まず当事者意識の持てる テーマを選定する事が必要だと思います。
- ・駅前などでチラシを配る。事前に模擬ミーティングや簡単なメモの提出などを求め参加者への関心を促す。
- ・1) 開催日を土日の日中にする。2) 開催日を増やす。
- ・ツイッター フェイスブック により最初は集まらなくても意見を集め、ある程度煮詰まって来てから、小学校へ集まり会議を行う。
- ・短時間で行うためには、あらかじめ出席者がテーマに沿った話し合いをしておき、出席者の意見を出しやすくする。
- ・どのような参加を希望しているのかによります。単なる意見収集ならばネット投稿もあるかと思いますが、一方的な言いたいことだけに なり無責任になることも懸念されます。
- ・軽食などを用意して、茶会形式などはいかがでしょう。鎌倉のお菓子を用意すれば、話題も弾むのでは。会費は500円程度で。
- ・学生や若年層が身近に感じるテーマを議論するか、親子(子供が学生や若年層)での参加を促すようにする。
- ・夜間の実施も検討する。
- ・学生はもちろん、就労世代も土日なら昼夜どちらでも可でしょう。
- ・これは非常に難しいですね。。。私自身、他市での活動で悩むところです。子育て世代の女性であれば、社協とタイアップして色んな附属イベントを検討することはできますが、男性は難しいです。
例えば、小学校と共同して子どもの「教育環境と鎌倉のまちづくり」といったテーマ設定をすれば、教育に関心を持つ親の参加が増えるかもしれません。個別に魅力あるテーマ設定が効果的かもしれません。。。
- ・そのような世代に個人的にメールや手紙で参加を呼び掛ける
- ・学生や就労世代の参加を増やすためには、土日の日中に開催せざるを得ないと考えます。またその方々に参加して欲しいという意思表示を開催のお知らせに明記すべきでしょうね。
- ・ミーティングのテーマ/コンテンツがkeyと思います。市の取組に学生や若年層を引込むテーマ検討(例:災害時の事前ボランティア制度)
- ・メール登録してもらってもっと情報を得易くする。 インターネット(例えばスカイプなど)でも参加できるようにする。 you-tubeなど使って何が行われるかを知らせる。
- ・近郊大学のゼミなどへのアプローチ、市の登録団体(スポーツ・文化)などへの呼びかけ。
- ・議題を市長として、市民に聞くのではなく、今自分が最優先にすべき施策や考え方を事前に市が発信出来る総ての手段を使っておこなう。更に開催日時は高齢者は日中、若者等は夜等を柔軟に使えばいい。
市民の意見を聴するならばここまで汗をかかなければ市民は本音は言わず、ただ陳情批判論で終わるだろう。
更にこの行為が選挙前の事前運動に近いものと思われるのも致し方ない。何故もっと任期があった時期に行わなかったのか、しかも自分の日程を前提にしているのは、いかがなものか、もしやりたいというのなら、再任された後に改めて腰をい据えてやればいい。
- ・ネットを活用
- ・興味のある題材、わかりやすい題で意見を言いやすい形。
- ・参加するメリットを明確にする事と、場所と時間の設定。
- ・(本人の許可を得た上で)若い人の好むFacebookで写真のタグ付けなど、参加したことへの充実感を促す工夫。参加した人へ参加した地元商店のクーポンをプレゼントする。
- ・話したいテーマであるかどうか。地元学校や会社への広報。ミーティングの後の懇親会の開催
- ・難しいでしょうが会場に行かなくても参加できる方法などはどうでしょう？
フェイスブック、ツイッターなどで意見が言える・Ustreamなどでフラットミーティングの中継をするなど
- ・若い世代は日々学業やアルバイト、掛け持ちの仕事等で追われています。休日は疲れて休んでいます。
- ・その世代はおそらく小学校には訪問づらい。閉じたスペースではなく、大船ルミネ前、ヨーカドー広場(申告の場所)、鎌倉駅江の電口時計台公園、など、園目的で訪れない人が通りがかり興味を覚えて膨張できるような場所で、おこなってほしい。
- ・ 市政eモニターに回答している人にメールを送って参加を呼びかけることが一番である。
・ 無差別抽出で10名くらいに郵送して呼びかける。
- ・質問5に平日というのは、学生、勤労者は基本的に参加できないので 土日に開催すべきである。 若年層も興味を持つテーマを取り上げるべきである。
- ・テーマについて、事前に周知し考えを持ってきてもらうようにする。そのために、開催案内/告知のときに、次のような情報を事前提示する。
・テーマの内容と、テーマに対する市長の思い
・テーマを選んだ背景、市役所としての問題・課題意識
・市役所として考えている対応案を案として複数提示
- ・案1) Meeting開催時間帯の設定を休日とする。
案2) 市長とのDialogを授業として実施する。後にレポートを提出させ、大学と市で内容を評価する(市内在住者を条件に)優秀な内容は成績に反映されるので学生の真剣な対応が期待できる。
- ・選挙の投票世代を見ても「学生や若年層」の投票率は低いのでは・・・このような座談会方式での参加は期待できない、メールやツイターなど参加しやすい方法で意見を集約することを考えたかどうか。
- ・保育室を用意して、小さい子どもを別室で遊ばせる
・お弁当を用意してあげる
・学生や若者層に関心を持つ議題やテーマに書き換える
- ・「ふらっとミーティング」とうタイトル自体を「三世代でふらっとミーティング」 などと言った若い人が気軽に参加できる前提のタイトルにしては どうか。私は三世代が一緒に暮らせるまちを 鎌倉が目指すべきだと思っていますので。
- ・参加の意思は、当日のテーマによって興味を持つかが変わるので、参加する意義を認められるようなテーマであることが必要。また、これを伝える「広報」の仕方に工夫が必要と思う。
- ・市内の産業振興や就職支援といった興味をひくテーマの選定。
- ・夜間などにも機会を設けるべきかと思います。
- ・就労世代は普段、市外で勤務している人が多いと思われるので、平日より土日に開催するのが望ましいと思う。個人的には市政に関心を持っている潜在層は多く、市は意見を出しやすい場を提供することが重要だと考えている。だが現在抱える問題は、町内会長やその役員といった、協議会や会議に参加する一部の人がその地域の「代表する意見」となっていて、それ以外の人にとって、意見提言を行うアクセス方法が十分でない点ではないか。
今後はネットだけでなく、広報誌や回覧板、市の行政施設などのメディアミックスで意見を募り、議論しやすいテーマや参加方法を取捨選択していくことが必要であろう。
- ・学生が休みの時期や土日で、若い人たちに興味を持てるような内容テーマを具体的に掲げる。インターネットや携帯電話からでも気軽に参加できるようにする。
- ・ボランティアを募り、ポスター掲示やチラシ配り(駅やバス停で)
- ・Ustreamでの中継にてTwitterやFacebookでの参加など、ウェブの利用が必要かと思います。
- ・曜日、時間帯が第一だと思います。 平日の昼間では、まず参加できないと思います。全てが同じ曜日時間帯ではなく、色々混ぜ合わせた方が 良いと思いますが....。
- ・参加可能なテーマや時間帯への配慮
- ・対象者への直接メール、FB、つぶやき などによるお誘い。若い人だけを対象とした別会議の設定など・・・
- ・土日開催でしょうか。
- ・若者に関心のあるテーマを選ぶ。学校と連携する。
- ・在宅時間帯(休日や夜間)での実施が第一かと思います。
- ・自治町内会でお知らせして土日夕食会をして話し合う
- ・年齢や属性を区分けして参加を募る方が参加しやすい。商店会所属の若手事業者、市内在住の大学生、〇〇地区の20～30代など。
- ・やはり広報の仕方かと思います。誰でも気軽に参加できる事を前面に打ち出す。鎌倉好き集まれ！的なキャッチフレーズ等々。

- 直接の意見交換が理想的であろうが、メールやフェイスブック、或いはツイッター などによる話し合いも、活用すると良いであろう。【小生、後期高齢者ですが、先日、アンドロイドタブレットを購入し、今、勉強中です。 スマホは字が小さくて、読めないのです】
- その層は広報などはまず見ない。告知を直接個人あてに郵送。
- 就労世代の参加も期待するのならば土日が良い。テーマによって曜日を設定するほかないのではないか。
- あまり当てにしないほうが良い。なぜならまだ他市に流動してゆく可能性の高い層だから。通常の広報で良い。
- テーマのとらえ方で、若い方の意見を多いに取り入れたいという意向をテーマのとらえ方で、若い方の意見を多いに取り入れたいという意向を打ち出すことではないでしょうか。
- 学校や企業に直接働きかける。学生課へ依頼する。中規模以上の企業に、事業説明と掲示物の配布、青年部への呼びかけ。各種NPOへの依頼など。
- ・年代別の実施(同世代だと意見がいいやすくなるのではないか
・他のイベント(スポーツ大会など)に付帯して行う



《秘書広報課広聴担当から》

未来の鎌倉はどうあるべきか、このまちをどうしていけばいいのか、そういった課題については、これからの鎌倉を担っていく若年世代の意見をもっと聴かなければいけないと考えています。皆様からいただいた多くのご意見を読ませていただくと、「インターネット」「土日・夜」「テーマ選び」といったところがキーワードになるのかなと感じました。

広聴活動では「青少年トーク」という若者を対象とした懇談も行っており、そちらは今後さらに力を入れていきたいと考えていますが、20代30代のいわゆる若手就労世代の方たちに、いかにして市政に目を向けていただけるかというのが、これからの広聴活動にとって大きな課題であると考えています。

厳しい財政状況で新たな投資ができない中、知恵と工夫、そして皆様からいただいた多くのアイデアを参考にさせていただきながら、その道筋を作ってまいりたいと思いますので、今後も引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、今回のアンケート結果を基に、早急に今年度の「ふらっとミーティング」の実施方針を定めて準備を進めてまいります。が、必ずしもこの結果で最も多かったご意見のとおりの方針を決めていくということではございませんので、その点はあしからずご了承くださいますようお願い申し上げます。

日程及び会場等、詳細が決まりましたら、モニターの皆さまにもメールにてご案内をさせていただきたいと思いますので、ご近所、お知り合いの方などにもご参加を勧めていただければ幸いです。

このたびはご協力、誠にありがとうございました。

経営企画部 秘書広報課 広聴担当

【お問い合わせ先】

鎌倉市 経営企画部 秘書広報課 広聴担当

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号

TEL 0467 (23) 3000 内線2505

FAX 0467 (23) 8700

e-mail : emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp